

キエフの軍高官が反政府側に寝返る、これがもっと起ると 予言

RT (Russia Today)

June 22, 2015



ウクライナの陸軍少将で同国防衛省次官だったと称する人物が、現在は、自称ドネツク人民共和国軍で働いていると声明を発表した。

「私はウクライナ国軍のアleksandr・コロミエツ少将です。私の最近までの職務は、ウクライナ国軍の主任アナリスト、ウクライナ国防省の次官でした」とこの男性は、自称共和国に忠実なドネツク報道局で行われた記者会見で語った。コロミエツはまた、自分がかつて19年間、ドネツク地区の徴兵局主任として働いていた者だとも述べた。

<https://youtu.be/-ZN9sFBdtnU>

「今後、私はドネツク人民共和国のために働くつもりです」と、コロミエツ（寡頭政治家のイゴーリ・コロモイスキーと混同するなかれ）は公言した。



関連記事：「ウクライナの右翼セクターがミンスク停戦協定を拒否、東部ウクライナ攻撃の再開を要請」 <http://rt.com/news/268723-ukraine-right-sector-war/>

この亡命者は、官憲からの反撃を恐れ、自分の家族をウクライナの首都から連れてきたと語った。彼はまた、ウクライナ軍の多くの者たちが、将官を含めて、自称共和国側に寝返りたいと思っていると主張した。コロミエツによれば、すでに数百人がキエフを捨てた。

「本当に戦っているのは誰なのか見ればよい。国粋主義部隊の志願兵だけです」と、この亡命者は記者会見で話した。

司令官に対する不満がだんだん高まっている、とコロミエツはこう言った、「やがて軍の内部に動乱が起るでしょう。彼らは、市民を殺せという与えられた命令を理解できないのです。おそらく秋までには、すべてが変わるだろうと思います。」



関連記事：「電撃作戦が大量虐殺に変わる：ハッカー活動家たちは、ウクライナ軍の皆殺しを突き止めている」 <http://rt.com/news/227071-ukraine-troops-hide-losses/>

彼は付け加えて、ウクライナ軍の士気が非常に低下していると言い、「すべての将官や将軍

たちは、政府の行動の犯罪的な性格を理解しているので、戦いたくないのです」と述べた。

一方、ウクライナ軍参謀本部の報道官は、「ウクライニスカヤ・プラウダ」紙に対し、コロミエツは無能のために、2012年に軍から解雇されたと述べた。「彼は、軍のトップ・アナリストの仕事をこなすことができなかった」とこの新聞によれば、報道官は言った。「その上、彼はロシアへ個人（私人）として旅行した。軍関係者は、そのような旅行については司令官に報告することになっているが、彼はルールを破ったのだ。」

コロミエツ（これが本名なら）は、すでに1年以上にわたってこの国を引き裂いている紛争で、寝返った最初のウクライナの将官ではない。これ以前の寝返り（亡命者）の中には、ルガンスクの税関の所長、ウクライナ外国情報局の職員、フランスのウクライナ大使館の館員の一人、などがいる。